

30.6.24

自衛官候補生教育修了

1 自衛官候補生教育修了しました。

陸上自衛隊では、全国で自衛官候補生が採用され、教育を専門とする教育大隊に加え、普通科連隊等の部隊も教育担任部隊に指定され、約3ヶ月にわたる自衛官候補生の教育を実施します。

第16普通科連隊は、本年度、42名の自衛官候補生の教育を行い、6月24日（日）に修了式を行い、大村・東被防衛協会会長である藺田大村市長様をはじめとする多くのご来賓の方にご参列頂き、42名全員が教育を修了しました。

彼ら自衛官候補生は、この教育の修了に伴い、配属される部隊と職種が決定されます。地元長崎出身の候補生は、長崎に所在する第16普通科連隊や第4施設大隊に多くの隊員が配属されますが、其々の成績や性格、希望等、様々な要素を考慮して、九州内の様々な部隊に配属されていきます。

従って、次の配置部隊が、自衛隊内で「原隊」と呼ばれる自衛官として初めての勤務地となるのです。

2 引き続き特技教育として新配置隊員特技教育が開始されます。

大村駐屯地に所在する部隊にも、自衛官候補生の教育を修了した新隊員が配置されます。本年度、第16普通科連隊が70名、第4施設大隊が24名の新配置隊員を受け入れる予定です。

彼らは、これから自衛官として2等陸士という階級が与えられます。そして、配置された部隊で勤務するため、部隊の装備品に関する教育や、行動するための基本的な事項について特技教育として約3ヶ月の教育を受ける予定です。

この特技教育を修了して初めて、一般の隊員と一緒にの仕事が始まることとなります。

これから、教育の内容も益々専門的になりますが、だんだんと成長する姿は頼もしいものです。これからの彼らの活躍に期待が膨らみます。

第16普通科連隊長兼大村駐屯地司令
1等陸佐 南野 延寿